

COOLな技を披露ー!



12
Dec 2022
No.809

12月号の主な掲載記事

- ☑第38回秋の山唄全国大会開催結果 P.2
- ☑秋の運動会フォトレポート P.4
- ☑WAKUYA ACTION SPORTS PARK PUB.
オープニングフォトレポート P.5
- ☑元涌谷町長 安部周治氏の功績をたたえて
..... P.10
- ☑町政懇談会を実施しました P.11
- ☑年末年始の業務カレンダー P.17

少年少女の部の初代優勝者が一般の部を念願の制覇

秋の山唄

3年ぶりに笠岳山の笠峯寺境内に響き渡った民謡「秋の山唄」。11月12日(土)13日(日)の2日間、第38回秋の山唄全国大会が開催され、少年少女の部に8人、寿年の部に32人、一般の部に83人が、北は岩手県、南は愛媛県と全国各地からエントリーがあり、自慢の唄声で競い合いました。

新 新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの開催となった秋の山唄全国大会。第38回の一般の部で優勝したのは、角田市から出場した渡辺千恵美さんでした。渡辺さんは、第11回大会の少年少女の部の優勝者であり、初代の少年少女の部の

優勝者でもあります。それ以来20年以上にわたり秋の山唄一般の部に参加し続け、念願かなっての優勝となりました。優勝にあたり渡辺さんは、「3年間のうちに県外や若い皆さんが成長され、決選会に残れないのではという思いでしたが、優勝で

きて本当によかった。日本の伝統文化なので、これからも大事に唄っていきたい」と話しました。準優勝には遠藤憲一さん(山形県山形市)が、第3位には荒瑞加さん(仙台市若林区)が見事な唄声で入賞されました。



①

秋の山唄全国大会初日に開催された少年少女の部では、山形県寒河江市から出場された佐藤美玖さんが優勝し、寿年の部では、山形県山形市から出場された松本省三さんがそれぞれ初出場で優勝されました。

佐藤さんは、「尺八の唄での大会出場は今回が初めて。楽しんでやれればと思つていたら、まさか優勝できるとは」と感激の様子で、松本さんは「先輩たちからの後押しがあつての優勝。これからの子どもたちのために大会を続けてほしい」と秋の山唄への思いを語りました。



⑥



⑤



⑨



⑦



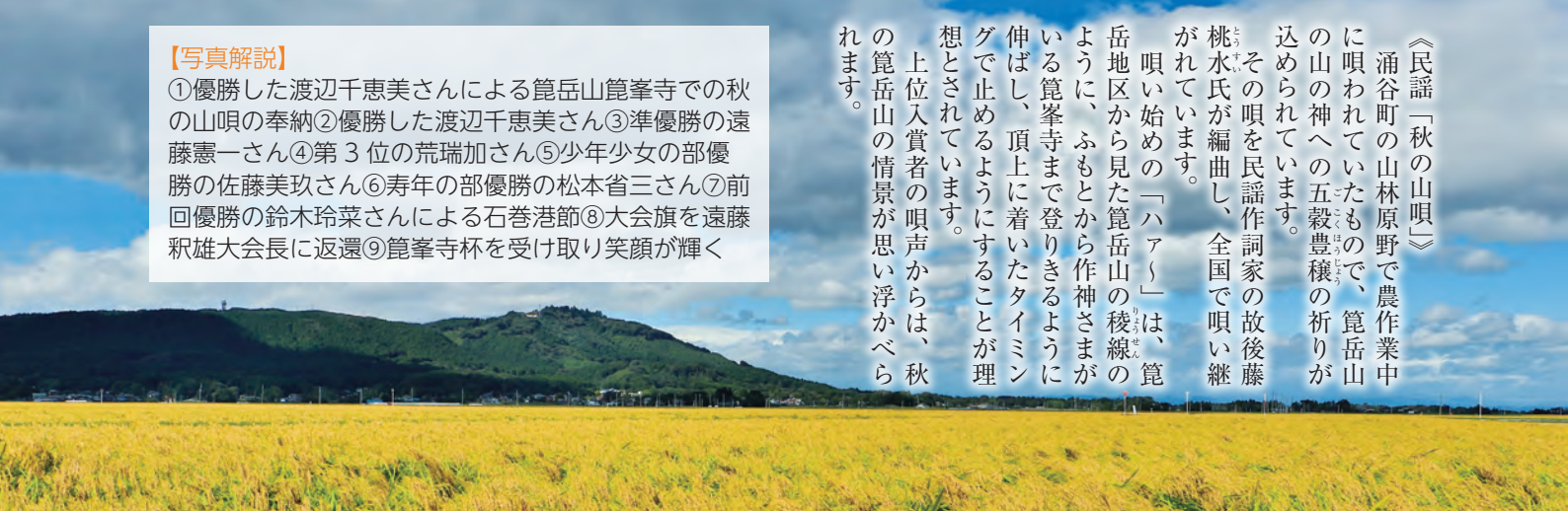
⑧

また、前回第35回大会を弱冠17歳で最年少優勝した鈴木玲菜さん(多賀城市)が20歳となり、大会優勝旗と笠峯寺杯の返還とゲスト出演され、若々しい唄声で秋の山唄と石巻港節を披露し、3年ぶりの大会に花を添えました。

【写真解説】

①優勝した渡辺千恵美さんによる笠岳山笠峯寺での秋の山唄の奉納②優勝した渡辺千恵美さん③準優勝の遠藤憲一さん④第3位の荒瑞加さん⑤少年少女の部優勝の佐藤美玖さん⑥寿年の部優勝の松本省三さん⑦前回優勝の鈴木玲菜さんによる石巻港節⑧大会旗を遠藤 稔大会長に返還⑨笠峯寺杯を受け取り笑顔が輝く

《民謡「秋の山唄」》
涌谷町の山林原野で農作業中に唄われていたもので、笠岳山の山の神への五穀豊穰の祈りが込められています。
その唄を民謡作詞家の故後藤 桃水氏が編曲し、全国で唄い継がれています。
唄い始めの「ハァ」は、笠岳地区から見た笠岳山の稜線のように、ふもとから作神さまがいる笠峯寺まで登りきるように伸ばし、頂上に着いたタイムイングで止めるようにすることが理想とされています。
上位入賞者の唄声からは、秋の笠岳山の情景が思い浮かべられます。





麓岳白山小学校



アオハルフォトレポート —コロナ禍以前の日常へ— 令和4年秋の運動会

新型コロナウイルスの第7波を乗り越え、感染者数が落ち着いた令和4年10月。麓岳白山小学校(上)と涌谷第一小学校(下)で運動会が開催されました。屋外でのマスク着用が緩和され、競技に臨む児童たちのさまざまな表情が花開き、多くの保護者が校庭に訪れ声援をおくっていました。



涌谷第一小学校



～ 涌谷町の新たな交流拠点～

ワクヤ アクション スポーツ パーク
WAKUYA ACTION SPORTS PARK

パブ
PUB.

10月23日(日)に、涌谷町でボードショップを営む株式会社ASKが、涌谷町涌谷字千間江にスケートボードやBMX、インラインスケート、マウンテンバイクなどのアクションスポーツを楽しめるレジャー施設「WAKUYA ACTION SPORTS PARK PUB.」をオープンさせました。施設には、全国的にも数少ないパンプトラックゾーンのほか、全天候型のセクションゾーン、シャワー棟、バーベキュー施設なども完備。

オープンを記念して開催されたイベントには、宮城県内のみならず隣県からもアクションスポーツの競技者が集いました。



専門家が監修して整備された
パンプトラックゾーン



全天候型の
セクションゾーン



「WAKUYA ACTION SPORTS PARK PUB.」は、年齢や性別の垣根を超えて、アクションスポーツを純粋に楽しめる社交場です。スケートボードがオリンピックの正式競技となり、注目を集めている現在、全国有数の規模のこの施設から、将来のオリンピックが誕生する可能性があります。

施設の営業時間や利用方法などの詳細は、「WAKUYA ACTION SPORTS PARK PUB.」公式ホームページをご覧ください。



多年にわたる各分野における功績をたたえて

令和4年秋の叙勲・宮城県文化の日表彰を受章・受賞されました

これまで各分野において、多年にわたる活躍されてきた功績により、叙勲および宮城県文化の日表彰を受賞されました。

このたびの受章・受賞、誠にありがとうございました。



令和4年秋の叙勲
瑞宝単光章
消防功労
佐々木 繁さん
(元涌谷町消防団分団長)



宮城県文化の日表彰
民生安定功労
佐々木 信之さん
(現民生・児童委員)



宮城県文化の日表彰
消防防災功労
佐藤 安憲さん
(現涌谷町消防団分団長)



多年にわたる教育功績者として 牛渡正哉氏が教育功績者表彰を受賞

11月4日(金)に、現涌谷中学校校長の牛渡正哉氏が、令和4年教育功績者表彰を受賞されました。

教育功績者表彰は、宮城県教育界の指導的立場であって、学校教育の振興に尽力し、教育行政の推進に寄与したことによる表彰です。

牛渡氏は、36年の多年にわたる教育功績が認められ、このたびの受賞となりました。



これからもお元気で 満百歳おめでとうございます

9月29日(木)に、大石きくさんが100歳の誕生日を迎えられました。

ゆうらいふで満百歳をお祝いし、町から敬老祝い金と祝詞を、ゆうらいふからは祝い花を贈呈しました。

好きな食べ物は、くだものという大石さん。中でも桃が大好物です。健康の秘訣は好き嫌いせず何でも食べることで、昔から歌うことが大好きでよくカラオケをしていました。どうぞこれからもお体に十分気をつけて、ますます長寿でありますよう、お祈りします。



ももいろクローバーZが涌谷町にやってきた LIVE originを開催しました

10月16日(日)に、涌谷町勤労福祉センターにおいて、週末ヒロインももいろクローバーZによるLIVE originが開催されました。

ライブは2部公演で開催され、全国各地から推しメンバーの色の服を着たももいろクローバーZのファン「モノノフ」が、涌谷町に集結しました。

当日は、ライブ会場だけではなく、「モノノフ」の皆さんが涌谷町内の飲食店や涌谷神社、城山公園にも足を運ぶなどにぎわいのある一日となりました。



奈良東大寺からのお客さま 東大寺筒井寛昭長老が天平ろまん館を訪問

10月22日(土)に、奈良東大寺の筒井寛昭長老が信徒の皆さんを連れて天平ろまん館を訪れました。

筒井長老が涌谷町を訪れるのは、平成27年7月に行われた現在の涌谷町となって60周年記念の建町記念式典以来のことです。

当日は、高橋宏明副町長と学芸員の福山宗志生涯学習課長補佐がお迎えし、筒井長老をはじめ、信徒の皆さんに、展示品をとおして涌谷町の日本初の産金の歴史や奈良東大寺とのつながりについて解説しました。



涌谷高校の生徒も初参加 令和4年度涌谷町総合防災訓練を実施

11月5日(土)に、涌谷高等学校を会場に、下町区・城山区・日向区・黄金区・上小塚区・下小塚区の住民の皆さんを対象として、大雨災害を想定した総合防災訓練を実施しました。

今回の総合防災訓練には、今年度までの2年間、宮城県から地域連携型学校防災等構築推進事業の実践研究校に指定され、複数回にわたって防災・減災にかかわる実習に取り組んできた涌谷高等学校の生徒も初めて参加しました。参加した生徒のうち38人が、10月に実施した宮城県防災指導員の講習会に参加し、地域防災のリーダーとして認定され、その証となる防災指導員の腕章を身に着け、訓練に臨んでいました。

訓練では、避難所となっている涌谷高等学校までの避難訓練から始まり、NPO法人防災士会みやぎの防災士であり、2の2区の行政区長でもある吉目木克彦さんによる防災・減災にかかわる講話や地震災害時の避難行動を身に着けることを目的としたシェイクアウト訓練が行われました。その後、複数のグループに分かれて、避難所設営訓練や段ボールベッドの組み立て、人命救助、災害伝言ダイヤルの実演などを体験してもらいました。

なお、参加した生徒たちは、防災指導員にふさわしく、各担当ごとに率先して行動し、避難してくる住民の誘導や受け付け、災害臨時エフエムの放送訓練などでいきいきと活躍していました。





茅葺き屋根の武家屋敷と秋の紅葉を楽しむ 町指定文化財・佐々木家屋敷を公開

11月12日(土)から11月20日(日)までの期間、黄金迫にある涌谷町指定文化財の佐々木家屋敷を一般公開しました。涌谷伊達家家中で騎馬御免の家柄であった佐々木家に伝わる文化財を屋敷内に展示しつつ、敷地内にあるもみじなどの紅葉を楽しむ催しとして、昨年引き続き開催されました。

11月19日(土)20日(日)の2日間は、もみじ茶屋と題した仮設飲食店を設け、来場者に新米のおにぎりや豚汁、温かいお茶などを販売しました。



地域ぐるみで地域の環境を美化 黄金自治会が天平フラワーロードを整備

10月30日(日)に、黄金自治会と涌谷高等学校ふれあい隊の皆さんが、黄金迫の佐々木家屋敷からわくや天平の湯までの道路の環境美化活動に取り組みました。

環境美化活動が行われた区間は、黄金自治会の皆さんが天平フラワーロードと名付けられ、毎年、春と秋に花の苗の植え付けや歩道の草刈りなどが行われています。

なお、この活動には、セブンイレブンの環境市民活動を支援する助成金や宮城県のスマイルサポーター制度などが活用されています。



火の用心 籠岳白山小6年生児童が防災無線に挑戦

11月9日(水)から11月15日(火)までの期間、全国一斉に行われる秋の火災予防運動を前に、運動期間中に、火の用心・火災予防を呼びかける防災無線のメッセージの収録に、籠岳白山小学校の2人の6年生児童が挑戦しました。

学校の放送室とは違った雰囲気防災無線室に緊張した様子でしたが、繰り返し練習し、落ち着いて収録することができました。

収録されたメッセージは、火災予防運動期間中の16時に防災無線を通じて放送されていました。



県北地域の地域おこし協力隊が一堂に会したイベント Chiocollectionが開催されました

11月6日(日)に、加美町中新田交流センターにおいて、大崎市・栗原市・登米市・加美町・色麻町・美里町・涌谷町の3市4町で活動する地域おこし協力隊が一堂に会し、それぞれの活動を披露するイベント「Chiocollection」が開催されました。

涌谷町からは、樋下稔生隊員と涌谷町地域おこし協力隊OGの丹治奈緒子さんが出展し、日本初の産金地・涌谷町に関連する日本遺産「みちのくGOLD浪漫」にまつわる活動紹介や黄金食材の提供・販売を行いました。